

水だより

高松

第24号

発行2011年8月



高松市上下水道工事業協同組合

〒760-0018 香川県高松市天神前5番30号
TEL 087-831-5633(代) FAX 087-861-9921

再生紙を使用

PRINTED WITH
SOYINK

更なる信頼される組合を目指して

去る5月、青葉を渡る風もすがすがしい季節の中、平成23年度第58回通常総会を迎えることが出来ました。これ偏に当組合の事業運営に関しまして、関係行政・団体等の方々を始め、組合員各位の高所大所からのご支援ご協力のお陰によるものと衷心より深く感謝申し上げます。

さて、皆様方ご承知の通り我が国経済は、一部の業種で回復の兆しが見えておりましたが、東日本大震災、福島第1原発の事故の影響で先行き不透明な一進一退の状況にあると言われております。このような市況を諸に受けるのが、我々建設設備業界であり、誠に厳しい経営環境におかれながらも企業存続を一途に、更なる隘路を見つけ出し一步一步の努力を余儀なくされているのが実情であります。私は、元来浅学非才の身であります、常に大局的な判断の下、潮の流れを見極め、そして今何をどうするべきかを考えて進めておりますが、昨今の想定外の変動に押され、残念ながら十分な成果には至っておりません。

「百術は一誠に如かず、誠心誠意尽くせば必ず道は拓ける」との格言があります。如何なる時代でも

高松市上下水道工業協同組合
理事長 中川 悟



誠実に勝るものはございません。人間社会生活また企業経営においても、誠実、真面目が一番であります。誠実さを忘れ、信用・信頼を失うのは一瞬であり、信用・信頼を得るのは相当の努力と時間を要します。市況厳しい中ではありますが、組合員各位がコンプライアンスの遵守を忘れず、切磋琢磨され、一人の落伍者も無く、前向きに進展されることを願う次第であります。多様化する社会情勢であります。が故に、今こそ従来に増して社会から認められる「信頼される協同組合」「信頼される組合員」を目指そうではございませんか！

理事長に就任して10年が経過致しました。引き続き組合員各位のご協力を仰ぎながら、会員企業のお役に少しでも立てるよう、粉骨碎身努力し、責任の一役を全うさせて頂く所存でございます。

皆様方の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、今後益々のご繁栄ご発展を心からご祈念いたしまして、簡単ですがご挨拶といたします。

黄綬褒章を 授与される中川悟



浦川設備工業株式会社の浦川和秀様・
株式会社平井設備の平井章様が高松市長より
市水道事業功労者として表彰されました。



就任に当たっての御挨拶

高松市上下水道事業管理者 稲垣 基通



高松市上下水道工事業協同組合の中川理事長様を始め、役員、そして組合員の皆様には、日ごろから、本市上下水道の普及推進と維持管理に格別の御尽力をいただいておりますこと、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申しあげます。

本市では、本年4月に下水道事業を公営企業に移行した上、水道局と組織統合し、新たに「上下水道局」が誕生し、私が上下水道事業管理者に就任いたしました。よろしくお願い申しあげます。

この新たな組織では、窓口の一元化などお客さまサービスの向上と効率的な事業運営、水行政の一体的な推進、更には東南海・南海地震等に備えた危機管理体制の充実・強化など、組織統合の効果を最大限に発揮しながら、公営企業として、一層の経営の効率化と健全化に取り組むことにより、お客さまから信頼され、将来に向けて持続可能な事業運営を目指してまいりたいと存じております。

ところで、本市水道事業は大正10年の給水を開始してから、本年9月で通水90周年を、一方、下水道事業は昭和40年に福岡下水処理場で汚水処理を開始してから46年を迎えますが、この間、貴組合の格別な御支援・御協力をいただきながら整備を進め、今や、上下水道

事業は市民生活や社会経済活動を支える極めて重要なライフラインとなっております。

しかしながら、上下水道事業が、これまでの建設・拡張の時代から本格的な維持・更新時代を迎える中、今後、高度経済成長期に布設した老朽管の大量更新や施設の耐震化など取り組むべき重要課題が山積しており、安全で良質な水道水の安定供給と安心で快適な生活環境の創出という、上下水道事業者の使命を全うしてまいらるためには、貴組合との連携強化が不可欠であるものと存じておりますので、一層の御理解と御協力をお願い申しあげます。

最後になりましたが、この度の東日本大震災被災地の復興には、上下水道工事業に携わる皆様の英知と優れた技術力の結集が欠かせないところでございまして、引き続き御支援を賜りますとともに、貴組合のますますの御発展と組合員皆様の御活躍を御祈念申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

新任のご挨拶

(有)田中水道設備 田中 壽則



この度の総会におきまして、監事に任命されました(有)田中水道設備の田中と申します。

東日本大震災の被災地では、未だに水道管の復旧が遅れ、ポリ管給水の地区が数多くあります。不衛生な生活が続き、震災復興にとって、憂慮すべきことだと思っております。

またここ、高松市においても、夏場の渇水や高潮による浸水等、多くの課題があります。地域の人々が不自由のないように、我々も水問題に真摯に取り組んで行かなければなりません。

また、災害時においては、理事長を中心に組合員が一丸となって、復旧に当たれるようにしなければなりません。

微力ではありますが、一生懸命に努めさせていただきます。

就任のご挨拶

(有)奈良設備 奈良 稔



今年度の組合総会で役員の末席に座らせていただきました。未熟者ですが精一杯努めさせていただきますので宜しくお願い致します。

早いもので今年も半年が過ぎました。温暖小雨の典型的な瀬戸内海気候である高松市は毎年水不足に悩まされます。給水工事業に携わる者のひとりとして、早明浦ダムの貯水量が頭から常に離れなくなりしました。市民生活に大きな支障をもたらす渇水は今のところ今年は杞憂に終わりそうです。適度な降雨は人の生活を豊かなものにしますが、集中豪雨となると豹変し大災害をもたらします。大自然はまさに紙一重のところで私たちの生活を支えてくれています。大雨とうだるような暑さの天を日々眺めては、梅雨時の憂鬱と、恵雨であるとの安堵感が胸で交

錯します。

先般の東北大震災と大津波では多くの人が亡くなり天文学的数字の復興が残りしました。日本中が圧倒的な悲しみに包まれたあの日を忘れることができません。この大災害は深刻な水問題を抱える私たち高松市民にも例外ではなく、災害の危機から自分たちを防衛する術を早く確率する契機を与えてくれたと私は考えます。

途中寄り道をしてこの業界に入った私ですが、今更ながら生活に密着した職業との実感を強く持ちます。

これからは、ライフラインを支える上下水道組合の役員としていろいろ模索しながら精進していく覚悟です。皆様方の益々のご指導とご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。

新任のご挨拶

織田設備(株) 織田 将男



この度、高松市上下水道事業協同組合の監事を仰せつかりました織田設備(株)織田将男です。まだまだ若輩者ですが、理事長をはじめ役員の方々に御指導頂きながら、微力ではございますが若さをいかし、精一杯努力して行きますので、よろしくお願い致します。

組合とは……?の役員とは……?とお話を頂いた時は不安に思う事もあったが、夕ぐれコンサートにはじまり、1～3回の役員会に出席する中そんな思いはなくなりました。それは現役員の方々の水道事業、組合に対する前向きな姿勢と考え方を見て聞いたからです。

大先輩の背中をしっかりと見て勉強し、これは自分自身にとってチャンスととらえ組合、組合員様の向上はもとより、自分自身も成長して行ける様に頑張っ行ってこうと思っておりますので、御指導、御鞭撻の程よろしくお願ひします。

就任のご挨拶

日照工業(株) 椎木 誉文



この度、東部地区の役員になりました椎木誉文です。

まだまだ若輩者ですが、理事長をはじめ先輩方々にご指導を頂きしっかりと勉強し、高松市上下水道組合運営に、協力して参りたいと思います。

合併してより東部の道路上、敷地内の漏水当番をして来ました中で、漏水修繕が出た時の対応、安全、時間、施工がいかに大切かを、身にしみて分りました。

今後、東部地区の役員として、全力で努力して参ります。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

賛助会員紹介

最近感じていること

有限会社川崎設備

川崎 祐平



私がこの高松で生を受けた1978年、日本の高度経済成長期後、インフラもほぼ整備されており、今日まで何不自由なく豊かな生活を送ってきました。

しかし、3月11日に発生した東日本大震災によって死者、行方不明者2万人以上、建築物の全壊半壊が合わせて22万戸以上、東北から関東にかけ広範囲で壊滅的な被害を受けた様子をみて、私も含め誰しもが大きな衝撃を受け、心を痛めたかと思っています。ライフラインも寸断され、ろうそくで夜を過ごしている様子や、川で洗濯している被災者の姿を見て、まるで私の知らない戦後の日本を想像してしまいました。

しかしながら日本は戦後からの復興で、飛躍的に経済成長を遂げ、インフラ整備が進み、豊かな生活を送ることが出来るようになりました。

これもひとえに私達の先輩達のおかげであると思います。数年前に父親の後を継ぎ水道業界に入り、その先輩方と一緒に仕事ができることを誇りとし、一設備屋として、まだまだ未熟な私ですが、この業界で貢献できるよう努力していきたいと思っています。

水の大切さ

株式会社河北水道

代表取締役 河北 頼久



先日の東日本大震災で報道されました様に日々当たり前の様に利用している水道が使えないという事で大変不便な生活を送られておりました。

私たちの生活に必要な水を、市民の皆様に供給する事に携わる事が出来、嬉しく思っております。大阪に住んでいる弟家族が帰省した時、「やっぱり香川の水はうまい!!普通に水道の水が飲めるなんて幸せやわ」と毎回の様に言います。

全国で、6都市が海外に水ビジネスとして働きかけているそうです。おいしい水道水、安定した下水システムが求められているのです。生活において、必ず必要な水であるからこそ信頼は地道なものであり、一朝一夕では得る事は出来ないと思いますので日々精進しなければと思います。

水道事業を通し、皆様の生活を安心と安全に、より豊かに後世に引き継いでいく事が我々の使命だと思っております。

当たり前の事が当たり前でない事も多々ある近年、今ある技術、環境に感謝し更なる発展に貢献出来ればと思います。

最後に組合員の皆様、まだまだ若輩者でございますので御指導、御鞭撻頂きます様よろしく願います。

入会のご挨拶

株式会社丸福建設

合田 福義



この度高松市上下水道工事業協同組合の賛助会員として入会させて頂きました。「株式会社丸福建設」と申します。入会に際しまして、暖かくお迎え頂きました組合員の皆様および賛助会員の皆様、協力会員の皆様、関係者の皆様の格別のご高配に對しまして、心より感謝申し上げます。

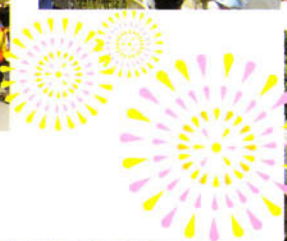
さて弊社は、創業より舗装工事業を主軸として営んで参りました。従業員数は約20名で、自社保有の機械と職人で舗装する「直営施工」をモットーとし、品質と安全を第一として取り組んでおります。

近年の社会情勢の変化は著しく、舗装分野におきましても、原油価格の高騰によるアスファルト価格の上昇や地球温暖化を背景とした環境問題に起因した舗装へのニーズの多様化など、企業経営における課題は多くあります。これらの課題に立ち向かうべく、社員一丸となって知恵をしぼり、技術力の向上へ取り組んでいく所存であります。

今後は、賛助会員の一人として、お役に立てるよう努力して参りますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第14回 タぐれコンサート

6月4日(土)



青年部

青年部会長 高尾 雄二



本年4月より青年部会の第5代目の部会長となりました、高尾です。
まずもって青年部会員を代表し、3月11日の東日本大震災に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、理事長をはじめ親組合の皆様には、平素より青年部会に対し多大なる御理解御支援を賜っておりますことに、この場をお借りして感謝を申し上げます。

平成23年4月2日の第9回通常総会を経て新年度・新体制をスタートさせましたが、東北地方における未曾有の天災により、遠く離れた高松の地にある私ども高松青年部会の事業計画が見直しを余儀なくされるという予想し得なかった事態となりました。しかし私たちはこのような状況下であるからこそ青年部会らしい柔軟な発想と機動力でこの状況乗り越えなくてはいけないと考えています。

青年部会はこの春、5名の方が卒業されましたが、新たに3名の方に入会いただき部会員数25名の会となりました。そして来年は設立から10年目というひとつの大きな節目を迎えます。先輩方から受け継いできたこの会を、更に元気にして若い部会員に引き継ぐためにも部会員相互の交流を益々活発にし、事業においても多くの部会員が参加したくなるような魅力ある事業を、学びも遊びも含めて1つでも多く開催したいと役員一同願っていますので、今後とも御指導御鞭撻のほど宜しくお願い致します。

もう一つこの場をお借りして・・・

45歳未満(45歳で卒業となりますので)の代表者もしくは後継者の方で青年部会に入会していただける方がいらっしゃいましたら御一報願います!!

私が小学生の登校時、見送ってくれる父に手を振り八百屋の門を曲がるのが習慣になっていた。

それは卒業する迄続いた。父の姿はいつも優しかった。

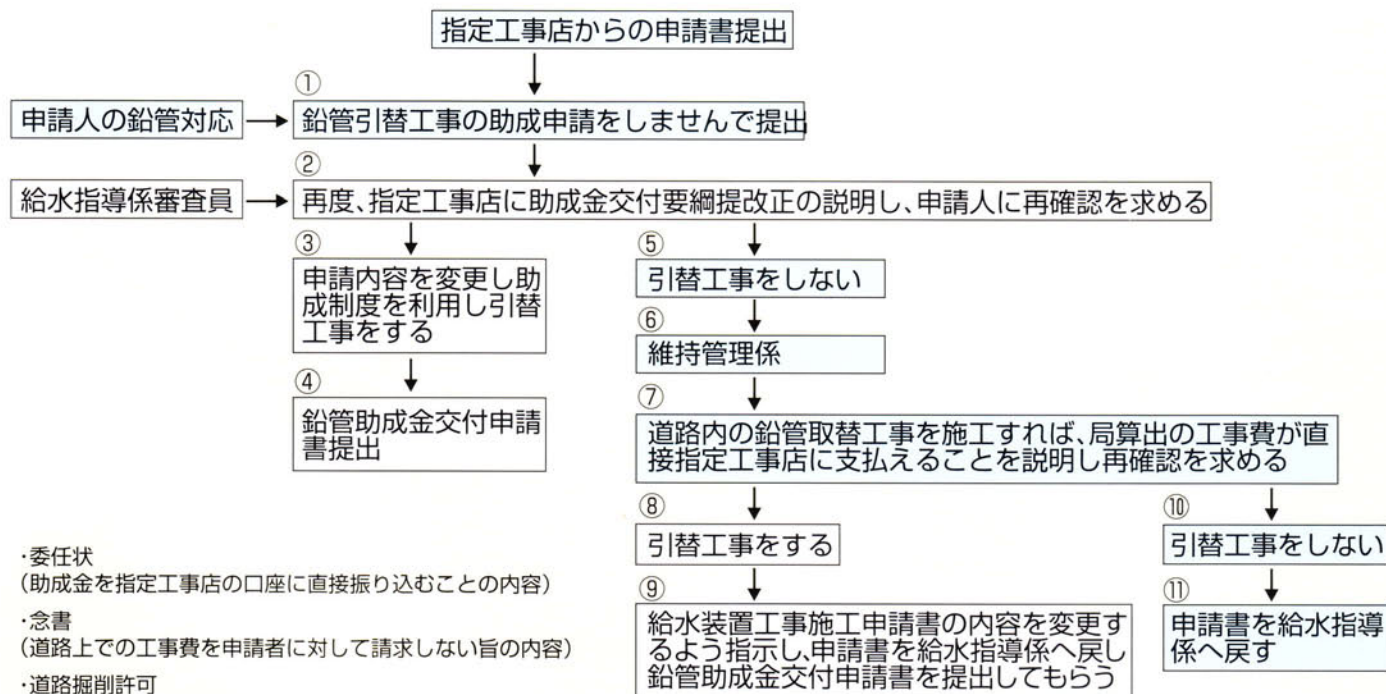
高松砂漠とよばれた昭和48年の夏。朝4時から2時間位しか水道が出なかった記憶がある。当時五右衛門風呂だった風呂釜と、これでもかというくらい大きなたらいに水を溜めるのが私の毎朝の日課になっていた。その途方もなく大きなたらいは、後に子供が産まれた時プール遊びとして大活躍した。

あの日も太陽はガラガラと輝き、青い空にまっ白な入道雲がもくもくともり上がっていた。そんな暑い日差しを浴びながら、父は井戸の横で何かを作っていた。大きな「瓶」の中に何層にも石や炭等を入れ、自家製の濾過機を作り井戸水を濾すのだという。物作りの好きだった父は、それを器用に作った。無言で「瓶」を作る父の背中、汗が流れていた。「佳代、飲んでみい。うまいぞ。」差し出したコップの井戸水は、本当にまろやかで、キラキラと光っていた。遠い遠い夏の思い出である。

区画整理で撤去されるまで、その井戸も「瓶」も使い続けた。あれから幾度かの夏が過ぎ、香川用水が通水し、水と決別できたと思った水も、父の背中もあの日以上に目が離せなくなってきた。歳を重ねる度にどちらも大切な気持ちがあふれだす。

そういう日は、父の背中の汗を拭きながら言った言葉思い出した。「水は大切に使わないかんね。父さんありがとう。」今は照れくさくて言えそうにもない。心の中で、そつとつぶやいてみた。「ありがとう。いつまでも元気でいてね。」

給水装置工事施工申請書提出からの鉛管対策対応



平成23年度高松市上下水道工事業協同組合・会議

第一回理事会

開催日時/平成23年4月28日(木)

11時55分～

開催場所/組合事務所 2階会議室

出席役員/16名

議案/(1)平成22年度決算並びに第58回通常総会について

(2)報告事項・委員会報告・その他

第二回理事会

開催日時/平成23年6月2日(木)

11時30分～

開催場所/組合事務所 2階会議室

出席役員/17名

議案/(1)平成23年度新役員打ち合わせ等について

(2)報告事項・委員会報告・その他

第三回理事会

開催日時/平成23年7月1日(金)

15時15分～

開催場所/組合事務所 2階会議室

出席役員/16名

議案/(1)水道局説明周知会について
(2)報告事項・委員会報告・その他
[合同委員会 16時～]

場所/4階会議室